



船橋市議会議員

(37歳)

みっはし

三橋さぶろう

一般質問② 児童相談所

船橋市議会第3回定例会で一般質問をした内容をお伝えします。

【児童相談所設置の調査・検討について質問1】三橋 (要約)

先日、市川の児童相談所を視察させていただきました。船橋市を管轄する市川児童相談所の業務が急増している現状と、船橋市内でも児童虐待が増えている現状から、私は船橋市に児童相談所を早期に設置してもらいたいと考えています。

前回の第2回定例会の一般質問でも児童相談所について質問させていただきました。答弁では船橋市でも児童相談所の設置検討を進めてきており、今年4月からは市川児童相談所に職員2名を派遣し、実際に児童相談所の業務を行うことによって、これまで把握できていない実務上の課題など、児童相談所からの視点も入れながら引き続き検討していくと答弁いただきました。

そこでお尋ねいたします。この市川児童相談所はどのような組織体系になっているのか質問いたします。また、本市の職員2名はどの部署でどのような業務についているのか質問いたします。

(裏面につづく)

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県生まれ(37歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ勤務
江東区健康スポーツ公社勤務
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選
・文教委員会 ・広報委員会 ・民主党会派
- 特 技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族:妻、息子(3歳)

(表面から)

【答弁】子育て支援部（要約）

市川児童相談所では、庶務課、相談調査課、診断指導課、一時保護課の4つの組織。派遣している職員2名は相談調査課に配属されおり、児童虐待などのケースについて実際に調査や援助を行うなど、県の職員と同様の業務を行っています。

【児童相談所設置の調査・検討について質問2】三橋（要約）

児童相談所の実務の課題を調査するのに相談調査課だけに職員を派遣していたのでは、児童相談所全体の実務上の課題を把握できないのではないかと考えられます。

市川児童相談所の業務は、職員2名が派遣されている相談調査課の他に児童や保護者に対して心理診断を行い、心理学的援助や、医師などが診断、治療を行う診断指導課。児童虐待に遭っている子ども、保護者不在の児童を緊急に一時保護する一時保護課があります。それぞれの課にも職員を派遣した方が児童相談所全体の実務の課題を把握できるのではないかと考えられますが、市はどのように考えていますか？お尋ねいたします。

【答弁】子育て支援部（要約）

児童相談所の業務について幅広く実務を把握したいと考えているところでありますが、来年度以降の市川児童相談所への職員派遣につきましては、現在派遣している2名の職員を含めて関係部署と協議したいと考えております。

三橋さぶろう市政報告会

日時：平成27年10月25日（日）10：00～

場所：三橋さぶろう事務所

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 1階

新京成線 習志野駅から徒歩4分。 駐車場はございません。

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail：funabashi@mituhashisaburo.jp

HP：<http://mituhashisaburo.jp>

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。